

〔科目名〕 財 務 会 計 論 I	〔単位数〕 2単位	〔科目区分〕 選択必修
〔担当者〕 金 子 輝 雄	〔オフィス・アワー〕 時間: 研究室に表示 場所: 513	〔授業の方法〕 対 面

〔科目の概要〕

～なぜ？どうして？から簿記・会計を理解する！～

2・3級の簿記検定は取り敢えず暗記すれば受かりますが、それでは伸びません。

ましてや「会計がわからんで経営ができるか！」(稲盛和夫)

といった名言にあるように、理解していなければマネジメントでも使い物になりません。

会計学基礎論で学んだ簿記(3級)を基礎から確認しながら簿記2級で行う各種会計処理や計算の理由・背景を学んでいきます。そして会計士・税理士試験の「財務会計論」、1級の「会計学」、公務員試験の「会計学」の合格に向けた基礎力の養成を目指します。

*本学では3・2級の簿記講座しかありませんので、それより上を目指す人は必ず受講してください。

財務会計とは、企業がその株主・債権者・従業員などのステーク・ホルダーに対して、その企業に関する財務情報を提供する会計をいいます。企業の社会的影響の大きさと、会計が人間の行為であることにより、財務会計には会計基準というルールが必要とされます。近年の企業活動と投資のグローバル化および情報化の進展により会計基準の国際的統合が進展し、国際財務報告基準が現代財務会計のグローバルスタンダードとなっています。そこでは株式投資に役立つ予測指向の会計が前面に押し出され、業績の指標である利潤の概念が実現ベースの「純利益」から発生ベースの「包括利益」に代わられています。他方で SDGsの実現に向けて財務報告自体も社会責任報告と一体化した「統合報告」も実施されるようになりました。

また、会計は単なる計算と思っている人がいるかもしれませんが、もしそうであれば会計はすべて AI に取って代わられるでしょう。しかし会計不正が後を絶たないのは、会計や AI を使うのはあくまでも生身の人間だからです。検定試験では解答しやすいようにあらかじめ問題が整理工夫されているため、解答が1つであるように思われがちですが、現実の会計では複雑に入り組んだ企業の経済活動を専門的な観点で分析し、解釈し、判断し、選択する会計処理が及ぼす様々な影響を考慮して最終的な決定がなされています。

〔「授業科目群」・他の科目との関連付け）・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつかか〕

- ・会計学基礎論に引き続き、より本格的な会計を学びます。財務会計論は会計情報が生み出される過程とその理論的根拠を学修することに焦点が置かれます。その理解を前提として、財務分析、監査論、税務会計およびNPO会計等へと展開します。
- ・日商簿記検定試験2級以上の内容です。そして難関とされる1級、公認会計士試験の財務会計論(短答式)・会計学(論文式)、税理士試験の財務諸表論、国税専門官採用試験の会計学の受験準備にも役立ちます。

〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕

伝統的な利益計算モデル会計学基礎論との連絡を意識して、基礎基本の確認からはじめ、徐々に、高度な会計処理とその理論へと少しずつ内容を深めていきます。常に理論と計算を並行させ飽きない授業にしたいと考えています(商業高校等で学ぶ「財務会計」よりも高度です)。最終目標は日商簿記1級程度の会計学と商業簿記です。

〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕

- ・ 内容が難しいという意見が多くなってきたことから、取り上げるテーマを厳選し、その分、より丁寧に説明していきたいと考えています。
- ・ 計算問題演習を多くしてほしい、またその解説時間が不十分という指摘もあります。限られた時間を考慮すれば、授業中で取り上げる演習問題を厳選し、他は宿題に回したいと考えています。

【教科書】																				
桜井久勝著『財務会計講義(最新版)』中央経済社 ¥3,800 (税抜き) * 会計士・税理士・簿記1級の必読書です。財務会計論Ⅱでも同テキストを使用します。																				
【指定図書】																				
藤井・内藤・吉岡編著『フランス会計の歴史と制度 ―国際的統合化への道筋―』白桃書房 2024 年																				
【参考書】																				
適宜紹介します。演習問題としては市販のものを各自の目的とレベルに合わせて活用してください。																				
【前提科目】																				
「会計学基礎論」が理解できていることが望ましいです。																				
【学修の課題、評価の方法】(テスト、レポート等)																				
①	確認テスト	(45%)																		
②	期末テスト	(45%)																		
③	ミニツツペーパー	(10%)																		
【評価の基準及びスケール】																				
	<table><tr><th>グレード表記</th><th>評 点</th><th>グレード・ポイント</th></tr><tr><td>A</td><td>80 点以上</td><td>4. 00</td></tr><tr><td>B</td><td>80 点未満 70 点以上</td><td>3. 00</td></tr><tr><td>C</td><td>70 点未満 60 点以上</td><td>2. 00</td></tr><tr><td>D</td><td>60 点未満 50 点以上</td><td>1. 00</td></tr><tr><td>F</td><td>50 点未満</td><td>0. 00</td></tr></table>	グレード表記	評 点	グレード・ポイント	A	80 点以上	4. 00	B	80 点未満 70 点以上	3. 00	C	70 点未満 60 点以上	2. 00	D	60 点未満 50 点以上	1. 00	F	50 点未満	0. 00	
グレード表記	評 点	グレード・ポイント																		
A	80 点以上	4. 00																		
B	80 点未満 70 点以上	3. 00																		
C	70 点未満 60 点以上	2. 00																		
D	60 点未満 50 点以上	1. 00																		
F	50 点未満	0. 00																		
【教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望】																				
本学卒業生にも公認会計士・税理士・国税専門官になって活躍している人がいます。皆さんもチャレンジしませんか？																				
【実務経歴】																				
銀行業及び税理士事務所での実務経験を活かし、会計学基礎論の学修を踏まえ、中級程度の会計処理とその背後にある理論を学ぶ授業です。																				
授 業 ス ケ ジ ュ ー ル																				
第1回	テーマ(何を学ぶか): ガイダンス お金を貸したのに借方に記入！Why？ 内 容: 会計とは 会計はAI に取って代わられるか？ 教科書・指定図書 本シラバスおよび 教科書 第1章 第1節																			
第2回	テーマ(何を学ぶか):財務会計の基礎理論 会計って何のためだれのため？ 内 容: 制度として行われる会計について 教科書・指定図書 第1章 第2・3節																			
第3回	テーマ(何を学ぶか):複式簿記の仕組みと財務諸表 やっぱ簿記だね！ 内 容: 利益計算の仕組み 教科書・指定図書 第2章 第1～4節																			
第4回	テーマ(何を学ぶか):財務会計の基礎理論 会計が目指すもの 会計の大前提！ 内 容: 概念フレームワークというもの 会計公準という決めごと 教科書・指定図書 第3章 第1・2節																			

第5回	テーマ(何を学ぶか):企業会計原則 7つの原則! 継続性が命! 内 容: 一般原則について 教科書・指定図書 第3章 第4・5節
第6回	テーマ(何を学ぶか):損益計算と資産評価 現金主義と発生主義の違いは? 内 容:発生主義会計の基本原則と資産評価 教科書・指定図書 第4章 第1～3節
第7回	テーマ(何を学ぶか):現金と有価証券 株投資!? 内 容:金融商品の会計 教科書・指定図書 第5章 第1～3節 (第4・5節は財務会計論Ⅱで扱います)
第8回	テーマ(何を学ぶか): 中間テスト 内 容: 中間テストとその解説 教科書・指定図書 プリントを用いる
第9回	テーマ(何を学ぶか):商製品の計算 いろいろな払出単価の計算方法! 内 容: 棚卸資産の会計 教科書・指定図書 第7章 第1～4節
第10回	テーマ(何を学ぶか):固定資産の取引について 補助金・修繕と改良について 内 容:有形固定資産の会計 教科書・指定図書 第8章 第1・2節
第11回	テーマ(何を学ぶか):資産会計 減価償却の本当の意味! 内 容:減価償却の会計 教科書・指定図書 第8章 第3節
第12回	テーマ(何を学ぶか):資産会計 アウガはなぜ消滅したか? 内 容:減損会計、繰延資産 教科書・指定図書 第8章 第4節
第13回	テーマ(何を学ぶか):リース会計 借り物なのに資産になる? 内 容:リース取引の考え方と会計処理 教科書・指定図書 第8章 第5節
第14回	テーマ(何を学ぶか):資産会計 ブランド価値ってどう? 内 容:総合償却、無形資産・ソフトウェア・研究開発費の会計 教科書・指定図書 第9章 第1～3節
第15回	テーマ(何を学ぶか):まとめ 内 容: 補足説明と問題演習 教科書・指定図書 プリント配布
定期試験	